

3. 「ふるさとの四季」

- 故郷 兔追いしかの山～
- 春の小川 春の小川はさらさら行くよ～
- 朧月夜 菜の花畠に入日薄れ～
- 鯉のぼり 葦の波と雲の波～
- 茶摘 夏も近づく八十八夜～
- 夏は来ぬ うの花のにおう垣根に～
- われは海の子 我は海の子白波の～
- 村祭 村の鎮守の神様の～
- 紅葉 秋の夕日に照る山紅葉～
- 冬景色 さ霧消ゆる湊江の～
- 雪 雪やこんこ霞やこんこ～
- 故郷 如何にいます父母～



Chorus Ohyama 合唱団おおやま

よってかれ家 ミニコンサート

2015年1月23日 (金)

1. 「涙そうそう」

古いアルバムめくり
ありがとうってつぶやいた
いつもいつも胸の中
励ましてくれる人よ
晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔
思い出遠くあせても
おもかげ探して よみがえる日は 涙そうそう

一番星に祈る それが私のくせになり
夕暮れに見上げる空 心いっぱいあなた探す
悲しみにも喜びにも おもうあの笑顔
あなたの場所から私が 見えたら
きっといつか 会えると信じ 生きてゆく

晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔
思い出遠くあせても
さみしくて 恋しくて 君への想い 涙そうそう
会いたくて 会いたくて 君への想い 涙そうそう

2. 「Let It Go～ありのままで～」

振り始めた雪は足跡消して
真っ白な世界にひとりの私



風が心にささやくの ここままじゃダメなんだと
とまどい傷つき 誰にも打ち明けずに悩んでた
それももう やめよう

ありのままの 姿見せるのよ
ありのままの 自分になるの
何も怖くない 風よ吹け 少しも寒くないわ

悩んでたことが嘘みたいね
だってもう自由よ なんでもできる
どこまでやれるか 自分を試したいの
そうよ 変わるのよ 私

ありのまままで空へ風に乗って
ありのまままで飛び出してみるの
二度と涙は流さないわ
冷たく大地を 包み込み
高く舞い上がる 思い描いて
花咲く氷の結晶のように
輝いていたい もう決めたの

これでいいの 自分を好きになって
これでいいの 自分信じて
光あびながら 歩きだそう
少しも寒くないわ

